

ウェルカム
茨城

Welcome Ibaraki

一貫生産体制を構築し、“迅速”、“丁寧”
な対応でお客様の要望に応える

株式会社トーシンウイング 茨城工場（石岡市）



取締役 営業本部長 大森 正義 氏

青果物の包装資材を製造

株式会社トーシンウイング（以下、トーシンウイング）は、1971年（昭和46年）に、現代表取締役の大森義雄氏が、神奈川県川崎市で創業した有限会社東神資材（以下、東神資材）を前身としています。

創業時の東神資材は、ポリエチレンを主な材料とする2～4kgの業務用もやし袋や麺袋等フィルム系の包装資材を製造しておりました。しかし、モヤシ等の包装が手詰めによる手作業から機械で行う自動化へと進行していく中で、破けにくく、透明性の高いCPP^(*1)やOPP^(*2)を使用するようになりました。

モヤシだけでなくハウレンソウやレタス等の葉物等、青果物全般の包装資材の製造販売を手掛け、順調に事業を拡大してきた東神資材は、製造の強化を図るべく、茨城県新治郡八郷町（現、石岡市）に、敷地面積約1,500坪を有するつくば工場を設立し、製造拠点を移転すると共に、社名を現在の株式会社トーシンウイングに変更しました。

つくば工場進出時、工場周辺は田畑が広がっていましたが、次第に宅地化が進み、近隣住民に対し騒音等の注意を払う必要が出てきました。また事業の拡大と共に、生産規模の拡張も必要になってきました。そこで、つくば工場に近く、交通の便も良い茨城県石岡市にある柏原工業団地に2012年（平成24年）、茨城工場を設立、生産規模を拡大し現在に至っています。

配送を兼ねた営業活動とオーダーメイド包材の短納期化

トーシンウイングは、配送を兼ねた営業活動とオーダーメイド包材の短納期化を強みとして、全国多数の農業関係者と取引を有しています。

配送を兼ねた営業活動は、トーシンウイングが所有するトラックを営業社員が自ら運転し、顧客まで配送することで、顧客の要望を聞くだけでなく、包材の在庫管理まで実施しています。それにより、包材の品質改善等を提案する営業スタイルを行い、顧客からの信頼を得ています。

また、包材のデザインを外部業者に委託せず、自社に専門のデザイン部署を設置し、包装する青果物等の特性や顧客の要望に合わせたフィルム包材をデザインしてサンプル品を提供する等、迅速に対応することで、オーダーメイド包材の短納期化を可能にしています。

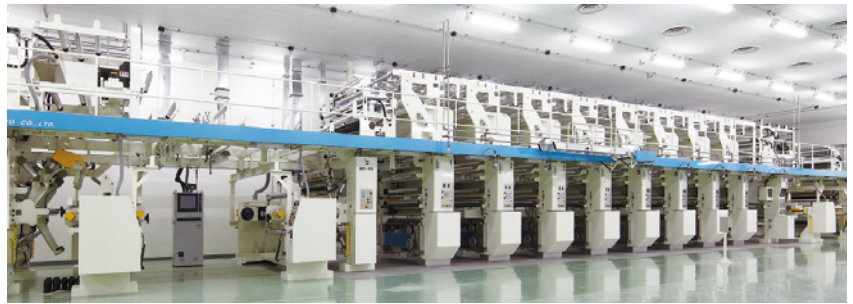
これらの営業活動や製品の短納期化を可能にしているのは、包材の企画から、デザイン、製造、納品までを一貫で対応できる体制を構築しているからであり、それにより低コスト化も図られています。



石岡市の茨城工場



様々な種類の取扱商品



最新鋭のグラビア印刷機

さらに、取引している農業関係者が生産している青果物は多岐にわたっているため、何千種類もの包材を小ロットで受注生産しています。トーシンウイングでは、この生産体制を実施するため、製造設備の段取り作業をスムーズに行える等、OJT等により社員の多能工化を実現しています。

包材は石油化学製品でもあるため、環境に配慮した製品づくりも求められます。トーシンウイングでは、生分解性のフィルムを使用した製品等、付加価値の高い製品開発にも力を注いでいます。

高品質な製品の製造拠点「茨城工場」

前述のとおり、トーシンウイングでは近隣住民への配慮と、生産規模の拡張を図るべく、茨城県石岡市の柏原工業団地に、敷地面積約5,000坪を有する茨城工場を設立しました。

茨城工場は、つくば工場に近いこと、従業員の移動がスムーズであること、両工場の管理が容易であること、常磐自動車道の千代田石岡インターチェンジに近いこと等から、トーシンウイングの強みである、配送を兼ねた営業活動とオーダーメイド包材の短納期化の更なる強化が見込まれるだけでなく、増産体制の構築も可能なスペースも確保することができました。

茨城工場では、自社でデザインしたフィルム包材を最新鋭の高速グラビア印刷機や様々なサイズに自動裁断するスリッター機を導入しており、包材の品質向上と顧客の要望に合わせたきめ細やかな製品づくりを進めています。

また、2018年（平成30年）9月には、より一層の製品供給力の強化と短納期化の実現、工場内で働く従業員の作業環境の向上を目指して、茨城工場を拡張、

つくば工場での製袋加工を茨城工場に集約し、新たな茨城工場が誕生しました。

更なる成長を遂げるために

現在、トーシンウイングの全従業員70名の内、茨城工場で働く従業員は60人で、その約半数近くを女性で占めています。茨城工場で働く従業員は全て近隣の住民で構成されており、また地元の高校生の採用も行う等、地域にとっては必要な就業の場となっています。

トーシンウイングの包材は、茨城県内だけに留まらず、関東以北でも広く取り扱われており、モヤシの包材では全国トップクラスの規模を誇っています。トーシンウイングでは、モヤシの包材に限らず、全国の農業に携わる人々に対し、高品質な製品を提供することで、製品の認知度の向上を目指しています。社名にある“ウイング”にもあるように、機動力のある営業を活かし、全国に羽ばたくことで、トーシンウイングは更なる成長を遂げられることが期待されます。

*1 CPP…無延伸ポリプロピレン (Cast Polypropylene) のこと。丈夫で裂けにくい透明な素材。

*2 OPP…2軸延伸ポリプロピレン (Oriented Polypropylene) のこと。CPPより透明度は高いが、強度は劣る。

会社概要

所在地	(本 社) 神奈川県川崎市多摩区寺尾台 1-24-8 (茨城工場) 茨城県石岡市柏原 2-4
業 種	食品用パッケージのデザイン・印刷・加工・販売
従業員数	70名
代表取締役社長	大森 義雄
連絡先	(本 社) 044-944-5821 (茨城工場) 0299-56-5881
U R L	http://tsw.fdblog.jp/